

SAK だより



“おお汗こ汗”

平成10年
かながわ
ゆめ国体



(財)神奈川県スキー連盟
横浜市神奈川区台町16-1
ソレイユ台町 407号室
電話 045 (311) 8907
FAX 045 (324) 6966
発行者: 柴田 伸彦
編集責任: 小松 良昭

新らたなる飛翔

6/1 財団法人認可なる! 名称 財団法人 神奈川県スキー連盟

神奈川県スキー連盟から 財団法人 神奈川県スキー連盟へ 法人化推進室報告

一九九六年五月三十一日、

願の財団法人神奈川県スキー連盟設立許可書が、神奈川県教育庁岩崎継夫総務室長より、当県連鈴木副会長に手渡された。

思い起こすと「神奈川県スキー連盟を法人にしたい」と多くの先輩達が夢を描き、代々の執行部にその実現を託して



八年前、柴田体制に執行部の陣容が移った時から、この運動は具体的に動きだした。果たして「我々に法人化はできるのだろうか」「法人とは一体どんなものなのか」。この初歩的問題をまず解決しなければ法人化作業に入れない。

そのため各市協からブレン(委員)を集め「法人化検討委員会」を設置し検討を開始した。

検討委員会は、*法人になれば人格を持ち、公的監査や教育委員会への義務が発生する。が *事務所を我々の名義にすることが出来る。(名実共に我々のものになる) *資金集めや税制の優遇措置が受けられる。



半世紀を超す歴史を誇る神奈川県スキー連盟が、この度、財団法人としての設立認可を受けて、新たな一歩を踏み出すことになりました。誠に喜ばしい限りです。会員数が七千五百人を数える全国第三位の巨大な組織を、健全に運営し、所期の目的であるスキーというスポーツの振興を図るためには法人

*将来にわたり、県下を代表する唯一のスキー団体として認知される。

*財団化は困難であつても(基金三億円必要、社団なら基金を集める必要がない)。

よって、「社団法人」にする。との結論に達した。時は既に、検討委員会発足から5年を経っていた。

具体的準備に入るまでに、各加盟団体のコンセンサスを取得する作業も欠かすことができない。地区懇談会、研修会、県連だよりなどを利用してこの方針を説いたが、十分なコンセンサスには到達できなかったようである。

平成四年、執行部内に、専任で法人化を推進する「法人化推進室」を設け、検討委員会は看板をかけた。法人化推進委員会へと発展させた。推進委員会は、定款(社団の憲法)を始め、主な規約の考案などをまとめつつ、県教育

格が必要との観点から、連盟事務局をはじめ、県議会、国体準備室などが、それぞれの立場で根気強く努力され、設立にこぎつけることができました。 関係各位のご尽力に心からの感謝を捧げます。 連盟の歴史をひも解きますと、昭和十四年二月に神奈川県山岳連盟としてスタート、同二十九年にスキー部門が独立して今日に至り、これまで

庁との接触を開始した。教育庁には総務室行政班という担当部署があり行政班の指導を受ける経過に「社団でなく、是非財団で進めて欲しい。基金は一億円で認可になる。」との大きな方向転換ともなる指導があり、元々、基金の問題さえなくば財団をめざしたかった我々は、大きく方向を変える事を決断し、評議員会、協会長理事長会議等のご了承を得て、基金への挑戦という苦難の道に立ち入ったのである。

・有資格者に登録料を四年分前納していただく。 ・協賛会員、有志の方々にご寄付を願う。 ・各協会の規模に応じてご寄付をいただく。

等々の資金調達の方策を立て、多くの方々にご寄進いただき、県連保有資金と合わせ、年二月、ついに目標の一億に到達することができた。

行政班との折衝は、極めて難行した。担当の方々には、大変親切に指導していただいたが、そもそも任意団体(今までの姿)と公益法人のなす姿が異なる。この点の理解と

数多くの名選手、指導者を輩出してきました。 市町村や学校、職域団体による活動で、今後ますますスキー熱が高まることが期待されております。

我々がめざす方向との相互理解の合意をめぐり、何度となく打ち合わせ、文書のやり取りを繰り返してまいりました。

また、小・中・高校生から一般を対象としたスキー教室の開催など連盟の事業も年々活発になっており、スキー人口のすそ野の広がりは私どもにとつて誠に力強い限りでもあります。 財団法人化により、事務局も自前のスペースが確保できましたし、煩雑な事務作業の効率化も図られます。 会員の皆様にも存分に活用いただける組織に衣替えして、さらなる発展を目指します。さらなる発展を目指します。さらなる発展を目指します。

新たな 組織への指針

専務理事 柴田 伸彦

多くの方々のご協力により、数年来の懸案事項でありました法人化が、平成8年5月31日付けで「財団法人神奈川県スキー連盟」として設立許可が下り、6月1日から公益法人としてスタートしました。

しかし、これから平成11年までの四年間は、私ども組織にとつて極めて重要な時期となり、今後いかに円滑にそして公益法人として誇れる組織に発展させていくか、多くの課題を残しています。

協会・クラブそして会員の方々のご理解と総意で第一目標を越える事ができました。 また、基金の調達に際して指導員の方々ははじめ特別会員、協賛会員、顧問等並びに有志の方々のご厚情に心よりお礼申し上げる次第です。冒頭に申し述べた四年間の

重要な時期にあたり、中期方針を定め、次のとおり今後の進め方として定めました。 1、理事相互の改善意欲等を結果し、あらゆるコストの見直しを行い、徹底した効率化に全力を傾注したい。

(1)行事については、独立採算制を原則とするが、費用全体に大きな割合を占めるものについては、理事会が一体となって改善に取り組み、さらに各執行部の単位で独自に改善に努める。実施にあたっては実態にみあった方法を工夫し、全体としての効果が得られるよう取り組みたい。

(2)行事の人員配置の効率化については、少数精鋭で行事運営にあたるものとし、さらに、現場業務(雪上帯)の技術的な実務の見直しに着手したい。

(3)社会並びに環境の変化に即応させ、組織としての一層の発展を目指すため、事業及びその内容等について

「再構築」又は「再編成」をしたい。 2、事業の目的を達成するために、最も簡素化した仕事の流れへの改善したうえで、各事業への展開をしたい。(1)これらの取り組みにあたり、まず自分の足元を見直すという基本精神のもとで、より効果的な方策として、慣習的な作業とその欠点を見つけない。 (2)旧来の考え方にとらわれないことなく、英知を出し合いつつひとつひとつ改善していきたい。

以上の施策だけでは不十分な面も多々あると思われるが、今後も実務のなかで随時補いながら進めたい。 また、実効あるものとするためには、今日までの体質をできる限り変革する事が必要であり、改革及び事業の円滑な展開を可能にするための諸条件の整備に努めたい。 ご理解、ご支援とご協力をお願いいたします。 部分は、 ・最高議決機関が評議員会から理事会に移った。 ・評議員の数は、従来の一〇九名から最高四〇名以内と縮小された。 ・これらに伴い、役員選考の方法も変わってくる。 ・名誉役員(顧問、参与)の人数も制限されている。等々から、細部の整備が必要になって来る。 『まとめ』 多くの方々のご支援で遂に法人になりました。心より御礼を申し上げます。 法人の特性を生かし、資金集め(寄付者に特典あり)や、税制面での優遇措置をうまく活用し、いずれ、財政面でも安定させ、選手強化、普及活動、等々の初志に添った活動をしていきたい。

各部だより

普及部

普及部報告

平成8年度シーズン中は、関係各位のご協力により、大過なく執行する事ができました。ご協力に心より御礼申し上げます。

研鑽に期待!

今シーズンの目標であった「ケガ人は出さない!」は、ほぼ達成できたものの、プロック技術員等専門委員の技術力の強化並びに正・準指導員の技術及び理解力の強化において、多くの課題を残してお



しかし、今日の社会的環境並びに勤務及び休暇等による諸般の事情から、役員諸氏に多くの負担を強いることも出来ないのが実状であり、来るシーズンの執行において考えを新たにすることがあります。例えば、今日の週休2日制の充実から、全ての行事を土日の週末に限って行事の執行にするなどが考えられます。また、昨年来からお願いしている、研修会の車山会場への一極集中を緩和するため、参加会場の分散についても引き続きお願いいたします。

り、指導者としての研鑽に期待するほかないと考えます。行事役員の人員確保 研修会、養成講習会及び検定会等におけるサービスの向上を目指していましたが、役員及び専門委員等の行事役員に不参加が目立ち、事業の執行面において低下傾向にあげます。

技術選で健闘! 全日本スキー技術選において、男子で武田、押切選手、女子では永吉選手の3名が予選を通過するなどの活躍があり、特に永吉雪絵選手は、種目別で上位に食い込む健闘で来るシーズンへの期待をうなづけています。



栄光のゼッケン1番

梅津 仁

還暦を迎え、人生の節目でもある今シーズンに、「1番」という願っても手にすることの出来ないゼッケンのもとに、栄光を手にする事が出来たことは、私の生涯を通じて忘れることの出来ない、貴重な思い出の一つになりました。健康のために何かスポーツを始めよう。汗臭くなく、ウェアはファッションナブル。何にもまして、駆けずり回らない分業だろうというイメージな動機から、四十二才でスキーを始めた私にとって、五年前にスタートした準指導受検は、



当初、スキーを止めないためにチャレンジする目標の一つだったのです。スキー技術は奥深く、ドンドンのめり込んでゆきました。そして恥ずかしながら四年前、年甲斐のない遊びに狂ったツケで、腰椎と大腿骨に始まる両下肢に七カ所骨折という大怪我を負い、再起不能におびえながらの四ヶ月の療養生活を過ごしました。松葉杖と後遺症は気で退院した後、二ヶ月位でリハビリと称しスキーを始めましたが、一シーズンを棒に振るなど回り道も多く、準指合格への道は遠いものでした。この受験を通じ、スキー技術向上に切磋琢磨する多くの素晴らしい仲間を得たことは、何にもまして大きな収穫でした。今後も研鑽を積み、後進のため微力を尽くせたらと考えて居ります。

つばいでした。前回に比べ、シャモニーは雪不足で、五月頃の気候とのこと。シャモニーでは、グランモンテ・フレジエール・ルトゥール・ブレバンなど様々なスキー場でスキーを満喫。とに

ヨーロッパスキー

八馬まゆみ

か滑る距離が長く、景色は素晴らしく、気持ちがよい! 楽しいものでした。

また、スキーもできることながら、食事等についても述べたいと思います。まず、十三日の昼食のミートフォンデュ、チーズフォンデュのオイル版。

牛肉を木のスティックにさし、オイル鍋に入れて食べます。色々な薬味があつたのですが、一番のお気に入りはカラシ&塩です。サラタ・ポテト・ビール等々おなかいっぱい食べ、日本田にして三千五百円程。

うーん満足! ホテルの夕食に出たブルーチーズは、ものすごく大きくてすこぶるおいしかったです。十五日は国境を越えイタリヤへ入り、クールマイユールで滑る。昼食はイタリヤにて本場の

スパゲティ・ピザを食す。とてもおいしい!! イタリヤは物価が安く、バッグや靴を買う人が続出。私もブーツを購入。十八日、飛行機にてパリへ。パリ着後、ル・プロコフ(創業一六八六年とのこと)というレストランで昼食。が、事件発生!! バスを降りるとき、何げなくコートのポケットに手を入れた私は、ギョーナ、なんとシャモニーのホテルフランツールのキーを持ってきてしまったことに気がつき、あおくなつてしまいました。しばらくは、こっさり白状したが、すぐに皆に

知れわたってしまった。パリでは市内観光を楽しむ。夕食は、焼き鳥・中華料理などを食す。good! (やや量に不満) しかし、パリはこわいところでした。にせ警察官(2人組)にパスポート・お金を見せろ等々、英語でまくしたてられる。(勿論、対応したのは私ではない) 2人組の逃げ足は速かった。何事もなかったがガクガク震えがきた。パリ土産は、怖さとエツフエル塔の前でホテルのキーと共に写した写真。スキー・観光と十分に楽しめたツアーでした。

Official Score

検定記録

正指導員 検定合格者

期日 H8年2月26日、29日

- 第1会場(朝里川) 小浅 知美 いずづ藤沢 中村 弘造 ジャンボ 第2会場(蔵王) 小林 新緑 雪稜 高沢 明宏 雪稜 第3会場(池の平) 柏谷 芳昭 横濱市立中学 藤澤 示弘 果序 吉田 雄一 綾瀬中央 宮下 英夫 スキー虫 長谷川 潤一 中原リオン 梅川 潤一 神大アルベン 立花 敬二 神大アルベン 沼野 正仁 茅ヶ崎スキー 佐藤 悦子 アインシュタイン 大澤 豊一 横濱プロテック 第4会場(朴の木平) 長内 壽 NEC相模原 松本 広司 タックス 小曾根隆司 エリアスキー 小川 進 エリアスキー 島崎 恵 山びこ 田中 守 BADEET 中川 武士 東芝スキー連盟

A級公認検定 合格者

期日 H8年2月26日、28日

- 第3会場(池の平) 田中 考一 川崎スキー 小林 弘明 横濱同好会 三宅 秀一 横濱同好会 藤間 浩之 川崎スキー

準指導員 検定合格者

期日 H8年3月1日、3日

- 会場 車山高原スキー場 (横) 57名 白井 利信 池田美智子 坂田 元政 山口 龍郎 深沢 祐一 高落 照治 伊藤 善美 丸山 京子 一ノ瀬和信 横溝 章彦 大場 久也 江川 善一 細田 昌仁 渡邊 誠 小田 清 小林 学 三上 義彰 田村 峰嗣 廣瀬 勇司 河西 秀浩 長谷川 均一 安西 康泰 高山 龍二 滝沢 進 水内 智 清水 聡司 根岸 誠 松本 正雄 鈴木 聡郎 天野 孝洋 黒柳 由美 伊藤 剛 黒柳 由美 伊藤 剛 八折 豊喜

SAJ技術 選手権大会

期日 H8年3月5日、9日

- 会場 北海道ルスツスキー場 男子準決勝 佐藤 公宣 井原 隆寛 (愛) 川 1名 梅澤 秋久

競技記録

第54回神奈川県 スキー選手権 (ノルディック競技)

期日 H8年1月1日、3日

- 場所 池の平スキー場 女子 5km 20min 43sec ①長谷川文子 東芝スキー ②松原 久美 フイバンド ③平岡 千春 川崎スキー ジュニア15km 1hr 00min 06sec ①柿沢 福郎 日大 少年男子 15km 55min 12sec ①宮田 論 横浜商大 ②中山 寛己 横浜商大 ③星野 裕一 横浜商大 成年男子C 15km 51min 14sec ①酒田 勝博 相模原市役所 ②相沢 一夫 東芝スキー ③佐藤 一夫 東芝スキー 成年男子B 15km 45min 55sec ①沢田 康浩 IBM藤沢 ②藤田 守 小原スノーリンク ③長谷川幸二 東芝スキー 成年男子A 15km 45min 36sec ①草薙 大輔 東海大 ②伊藤 雅章 東芝スキー ③阿部 忠雄 東電

公認パトロール 検定合格者

第2会場(田沢湖)

- 小林 昌幸 横濱同好会 小川 泰代 川崎スキー 下田 節 小原同好会 第3会場(白峰高原) 川崎智恵子 シーフエル

SAK公認旗門 審判員公認者

期日 H8年3月8日、10日

- 会場 上越国際スキー場 鈴木 慎一 日笠情報通信スキー部

テクニカル 合格者

期日 H8年3月31日

- 会場 野辺山スキー場 4月1日 関 和弘 ショウナンキッズ

南関東ノルディック競技会 兼第51回団体スキー競技会 兼第18回神奈川県民体育大会 スキー競技会 期日 H8年1月20日、22日

- 場所 池ノ平 種目 クラシカル 成年女子B 5km 20min 35sec ①沖崎ゆかり 相模原市役所 ②平岡 千春 川崎スキー ③長谷川文子 東芝スキー 成年女子A 5km 21min 05sec ①声川 弓 東京工業大 ②年男子C 15km 51min 49sec ①酒田 勝博 NEC相模原 ②相澤 博 相模原市役所 ③坂下 誠光 新タチノミ 成年男子B 15km 47min 31sec ①沢田 康浩 IBM藤沢 ②藤田 守 小原スノーリンク ③上藤 直樹 EBARA

各部だより

強化部

強化部報告

強化部長 山田 カ

平成八年度は、従来のアルペン・ノルディックに加え、スノーボード・フリースタイル・マスターズの各委員会を設置し、スキーマルティタ化に向けて第一歩を踏み出しました。

フリースタイルとマスターズは、大会及び強化事業を実施していませんが、第16回全日本フリースタイルスキー選手権大会が、伊地智麻子選手(横浜教職員同好会)が第3位となりました。

スノーボードは全国から注目されるなか、第1回神奈川県選手権大会を野辺山スキー場で開催しました。

財全日本スキー連盟

創立70周年記念式典

七〇年の歴史を築き、そのスキー連盟を支え発展に尽力し、そしてスキーをこよなく愛した方々の功労を讃える表彰式は、全国のスキー関係者が集い6月29日に東京プリンスホテルで開催されました。



大正にかけて、新潟の高田と、スキーの歴史は、明治から開かれ、第3回全日本スキー選手権大会終了後の「発会式」で、設立を提唱した稲田昌植男爵が初代会長に就任して「全日本スキー連盟」が誕生した。

県総体 相模原市 6年連続の優勝. Includes a logo for Kanagawa Prefecture and a photo of a skier.

ドコース、クロスカントリーは、ゲレンデ内、約千メートルの特設コースを使用して無事終了することができました。

- 市19点③小田原市18点 大回戦 「女子」①相模原市15点②秦野市10点③平塚市8点 「男子」①相模原市26点②厚木市26点③相模原市21点

第47回神奈川県総合体育冬季大会スキー競技会が、平成八年二月二十三日より二十五日の三日間、長野県南佐久郡南牧村野辺山ハイランドスキー場にて総勢六百名の選手、役員に参加により行われた。

本県より「長野オリンピック」へ代表選手を、「53神奈川県体」では天皇杯入賞を果たしました。

「北国の熱い闘い」 '96スキーマスターズ大会が北海道小樽市の天狗山スキー場に於いて、二月二十四日から二十六日迄開催されました。

この70年の歴史の中で、神奈川県スキー連盟を支えて育ててきた方々の功労を讃え、黒川秋三名誉会長をはじめ次の方々が表彰されました。

ピックが開催され、笠谷選手の金をはじめ銀銅のメダル独占。近年では、平成4年アルペール冬季オリンピックにつづき、平成6年のリレハンメルでも、萩原、河野、阿部選手活躍により、日本チームが金メダルを獲得。

かつては、国体の開催地で国体の前日に、各連盟の役員大会のようなかたちで毎年行われていたものですが、その後、名称も「ベテラン大会」「オールドパワー大会」と変わり、長野国体後は、国体とは切りはなして、単独で毎年開催されるようになりました。

この70年の歴史の中で、神奈川県スキー連盟を支えて育ててきた方々の功労を讃え、黒川秋三名誉会長をはじめ次の方々が表彰されました。



第一戦目の夜はパーティーがあり、各連盟の交流が行われ、第二戦の健闘と、いつまでも元気あることをたたえ、楽しい一時を過ごします。

Official Score

Table of official scores for various events including the 16th Mizuno Cup, 51st National Ski Selection Exam, 13th Kagazamaka Cup, 14th Small Plate Slalom, 10th Nishinobe Slalom, and 54th Kanagawa Prefecture Ski Selection Exam. Lists winners and their times for different categories.

各部だより

総務部

総務部事業報告

総務部担当理事も事業に慣れ、更に各協会・クラブの皆様のご支援とご協力のお陰をもちまして平成八年度の総務部執行を大過なく完了させることが出来ました。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

しかしながら、全体を通して見ますと、細部の処理にまだまだ不十分な点も多く、会員の皆様方からのご不満も有ろうかと思われまします。総務部としても反省事項をチェックし、改善点については次期の

「基金凍結」などにより年度へ十分な運営資金を残すことが出来なくなってしまう。今後、執行の「質」についても「どのレベルまで」が理想かを再討議し、健全な財務執行が出来るよう検討したいと考えております。



「基金凍結」などにより年度へ十分な運営資金を残すことが出来なくなってしまう。

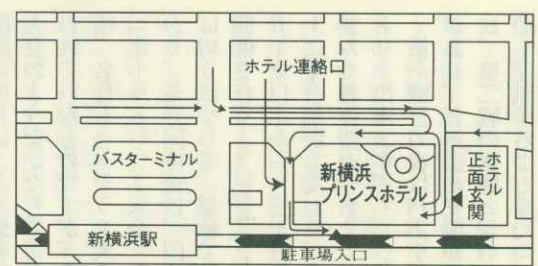
ご案内

法人化 記念祝賀会

財団法人の認可により「神奈川県スキー連盟」が、新たな組織へ飛躍することになりました。

この記念すべきエポックを皆で祝う宴の会を、次のとおり開催いたします。

期日 平成8年10月13日(日)
会場 新横浜プリンスホテル シンホオニア
会費 一〇、〇〇〇円
多くの方々のご参加をお待ちしています。



指導員

神奈川県スキー指導員会広報部
横浜市神奈川区台町16-1-407
神奈川県スキー連盟内
〒410-3111 電話 405-3111

幹事長 吉岡 幹雄

八年度報告

平成七年九月三日の七年度総会、懇親会から八年度に引き継ぎ、平成八年五月二三日の第52回懇親ゴルフコンペ迄、指導員会の趣旨である親睦目的行事と、県連からの委託事業である特別研究会、クラブウ・テクニカル検定などを実施して参りました。

本年も会員諸兄並びに県連のご協力のもとに多数の参加を得、スムーズな運営ができたものと感謝しております。また各協賛企業から多数の賞品のご協力を戴きました。心より御礼申し上げます。

◎七年度総会・懇親会

平成七年九月三日
ワークピア横浜・約百八十名
特別講演「検定に対する技術

評価について」SAJ指導員会委員長 平川仁彦氏。

◎第五回テニス大会

平成七年十月十五日
横浜市立東高校・54名参加

男子ダブルス優勝 大津・菊崎 二位 八幡・丸本、三位 跡部・隅。混合ダブルス優勝 菊崎・長田、二位 仲沢・仲沢、三位 菊地・近藤。

◎第51回ゴルフコンペ

平成七年十月十九日
富士チサン・73名参加

◎特別研究会
第九回特別研究会は平成八年二月二日から四日迄、車山高原スキー場で、正、準指へ向けた養成講習会として一七名の参加を得て行われました。本年も指導員中心の実技講習を行い、ビデオ撮影、模擬検定会は好評でした。

◎クラ・テク検定会

平成八年三月一日から三日
迄車山高原スキー場で行いました。受験者はクラウンが五名、テクニカルは三十名でした。合格者はクラウンは残念ながら無し、テクニカルは五

◎オール神奈川 スキーヤーズ大会

第15回オール神奈川スキーヤーズ大会は晴天の新潟県八海山麓スキー場で平成八年二月三日四日に行われました。

三日は地元元スキー学校講師による大回転ポール講習会をメインコースの三分の二を完全閉鎖して行い、長いコースを練習して戴き大変好評を得ました。(参加一七八名)
翌四日の大回転は県連のポイントレースとして実施致しました。(参加一七〇名)
(結果は別掲載)

◎指導員会フェスティバル

三三五名と多数の参加者のもとに第十二回指導員会フェスティバルが平成八年四月六日、七日と車山高原スキー場で行われました。

今年、会員の家族、友人やクラブの納会を兼ねた参加も多く、和気あいあいのフェスティバルとなりました。

一日目は午後からの特別講習会、二本のコースでのポール練習、スノーボード試乗会と思いいに楽しんで頂いた後、夜は恒例のパーティ。御諏訪太鼓のアトラクションに続いて、協賛各社提供の豪華賞品が全員に当たる大抽選会となり、また各参加者間の交流も盛んな、大変盛り上がった一夜でした。

二日目は回転競技を二本の

コースで同時進行を進めました。車椅子スキーや一本足スキーの人の前走の後、最長老の松浦名誉会長から七歳の選手迄、熱戦を繰り広げた一日でした。(結果は別掲載)

Official Score

| | | | | |
|---|---|--|--|--|
| ② 来住 光珠 IBMスキー部 ③ 星川規子 横浜スキー ④ 永吉 登 シーフェル ⑤ 吉成 俊晴 横浜スキー ⑥ 角田 昌紀 ショウナキッズ ⑦ 鈴木 徹朗 桐光学園高 ⑧ 尾中 信介 桐峰高 ⑨ 池谷 義則 ショウナキッズ ⑩ 久津輪真理 厚木自衛隊 | ③ 樋口美恵子 日本電気玉川 ④ 永吉 登 シーフェル ⑤ 尾花 研 東洋英和SC ⑥ 角田 昌紀 ショウナキッズ ⑦ 鈴木 徹朗 桐光学園高 ⑧ 池谷 義則 ショウナキッズ ⑨ 内田 将之 ショウナキッズ | ① 岩瀬 恵子 (横浜) ② 矢野英里子 (横浜) ③ 古田 春雄 (秦野) ④ 吉田 謙 (横浜) ⑤ 平賀 淳夫 (横浜) ⑥ 香川慎一郎 (横浜) ⑦ 香川直樹 (厚木) ⑧ 香川勝一 (横浜) ⑨ 鈴木 匠 (南足柄) ⑩ 大久保彰人 (南足柄) | ① 廣松 佐禰 (横浜) ② 坂本 都 (横浜) ③ 伏屋 真澄 (横浜) ④ 井野美代子 (川崎) ⑤ 今津 充子 (横浜) ⑥ 田中正誠 (小田原) ⑦ 松浦益司 (川崎) ⑧ 内田 鉄蔵 (川崎) ⑨ 田中 安男 (横浜) ⑩ 細井 健吾 (横浜) | ① 橋本 清美 (大和) ② 坂本 広美 (横浜) ③ 吉田 夕美 (横浜) ④ 輪島 聡美 (秦野) ⑤ 吉田 慶子 (秦野) ⑥ 北沼 邦男 (相模原) ⑦ 松浦 護 (相模原) ⑧ 戸沢 真美 (秦野) ⑨ 伊藤 武文 (横浜) ⑩ 徳本 進 (横浜) |
|---|---|--|--|--|

指導員大会大会記録

| | | |
|--|---|---|
| 期日 H8年2月4日 会場 八海山麓スキー場 指導員部最優秀選手 香川慎一郎(横浜) 一般部最優秀選手 田中 公文(川崎) 女子 長谷川由季子(個人) マスターズの部 女子 ① 伏屋 真澄 (横浜) ② 西畑久美子 (横浜) ③ ジュニアの部 ④ 古澤 佑介 (横浜) ⑤ 三星真奈美 (逗子) ⑥ 森 健 (川崎) ⑦ マスターズの部 男子4組 ⑧ 熊谷 敏夫 (横浜) ⑨ 細井 健吾 (横浜) ⑩ 大澤 保男 (川崎) ⑪ マスターズの部 男子3組 ⑫ 鈴木 秀雄 (横浜) ⑬ 丹羽 一夫 (横浜) ⑭ 安藤 弘基 (横浜) ⑮ 松本 重男 (横浜) ⑯ 小関 風 (横浜) ⑰ 福沢 洋治 (横浜) ⑱ マスターズの部 男子1組 ⑲ 二ノ宮勝行 (相模原) ⑳ 松井 隆一 (川崎) ㉑ 小林 俊夫 (横浜) ㉒ 一般の部 女子2組 ㉓ 長谷川由季子 (個人) ㉔ 青木 香弥 (横浜) ㉕ 小林 好子 (藤沢) ㉖ 一般の部 女子1組 ㉗ 向山由希子 (津久井) ㉘ 小澤あさ子 (横浜) ㉙ 高橋真知子 (川崎) ㉚ 指導員の部 女子 ㉛ 今野 裕子 (横浜) ㉜ 阿久津光代 (大和) ㉝ 競技選手の部 女子 | 期日 H7年4月6日7日 場所 車山高原スキー場 マスターズの部 女子3組 ① 丸山 禮子 (川崎) ② 白石 嘉子 (横須賀) ③ マスターズの部 女子2組 ④ 鈴木佳佳子 (茅ヶ崎) | 期日 H7年10月15日 場所 横浜市立東高校 男子ダブルス ① 森 雅昭 (川崎) ② 梶橋 正峰 (秦野) ③ 山本 義昭 (横浜) ④ 男子の部 1組 ⑤ 大山 一浩 (秦野) ⑥ 須子 起意 (横浜) ⑦ 小林 鉄輝 (津久井) |
|--|---|---|

◎第52回ゴルフコンペ

平成八年五月二三日
富士高原GC・70名参加

優勝 浜岡由香、2位 廣松山 3位 田上勝

◎第12回指導員会フェスティバル

期日 H7年4月6日7日
場所 車山高原スキー場
マスターズの部 女子3組
① 丸山 禮子 (川崎)
② 白石 嘉子 (横須賀)
③ 鈴木佳佳子 (茅ヶ崎)

◎第5回テニス大会

期日 H7年10月15日
場所 横浜市立東高校
男子ダブルス
① 森 雅昭 (川崎)
② 梶橋 正峰 (秦野)
③ 山本 義昭 (横浜)
④ 男子の部 1組
⑤ 大山 一浩 (秦野)
⑥ 須子 起意 (横浜)
⑦ 小林 鉄輝 (津久井)

次号予告
SAK
だより
11月末日
発行予定
特集
● 法人化記念祝賀会報告
● 平成9年度行事一覧
● スノーボードと安全対策

